

2024年8月19日

株式会社アンビスホールディングス

当社が経営支援している医療法人の取り組みが岩手日日に掲載

株式会社アンビスホールディングス（本社：東京都中央区、代表取締役：柴原慶一、以下当社）がサポートしている医療法人の経営改革について、株式会社岩手日日新聞社（本社：岩手県一関市、代表取締役：山岸学）の発行する岩手日日（2024年8月3日付）に掲載されました。

本記事では、支援先の医療法人の理事長と、当社の医療部部長が岩手県一関市の佐藤善仁市長と面談し、両法人の連携強化により事業が円滑に推移していることや、新たなホスピスも開設予定であり、引き続き地域医療に貢献していく旨を報告した様子が記載されています。

令和6年（2024）8月3日（土曜日） (14)

一関・平泉地方 ホスピス2号館開所へ

一関、西城両病院 円滑な連携事業報告



一関市大手町の財団医療法人博愛会一関病院（佐藤隆次理事長）と、同市八幡町に本社を置く西郷病院（水野生一理事長）の両法人は、地域医療に貢献し、引き続き地域医療に貢献していく旨を報告した様子が記載されています。

市役所で面談した。両法人の連携強化で事業が円滑に推移し、新たなホスピスも開所予定であるなどと報告し、引き続き地域医療に貢献していく姿勢を示した。

両法人は地域住民に十分な医療を将来的にも提供していくため、それぞれの医療資源を集約。2023年12月に西城病院の病床をホスピスに転換し、今年1月には西城病院の外来診療機能を、2月には透視機能をいづれも一関病院に移転した。地域医療再生事業を推進するアンビスホールディングスの子会社「明日の医療」から経営支援を受けている。

市役所には佐藤、水野両理事長とアンビスホールディングスの税田紘輔医療部長が訪問し、目指してきた方向性や構造改革を説明した。

水野理事長はホスピスの稼働状況を「現在は満床に近い。一関地区での需要を示す結果」とし、外来・透視機能の移転については「最初は動線の混乱があったが落ち着いてきた。集約化で患者にも一体化した医療を提供できている」と語った。

佐藤理事長は「一関病院での在宅医療事業を拡大させ、訪問診療の医師の体制も充実させた」とし、「西城病院との診療科統合による診療機能の改善や入院調整を通して一関病院の地域包括ケア病床の機能を強化したい。地域医療の継続に尽力する」と話した。

29日にホスピスの2号館「ホスピス西城II」の開所式を行い、9月1日から稼働することも紹介された。

佐藤市長は「地域医療は大変な状況。少子高齢化の時代にどのように医療を提供するかは大事で、このような形になったことはありがたい。人材の確保もうまくいけばいい」と述べた。

本社編集局 01911
千厩支局 01911
平泉支局 01911

■岩手日日新聞社オンライン

<https://www.iwanichi.co.jp/2024/08/03/13219529/>

<問い合わせ先>

担当 株式会社アンビスホールディングス 問い合わせ窓口 浅井

TEL : 03-6262-5105 E-MAIL : ir_contact@amvis.co.jp URL : <https://www.amvis.com>